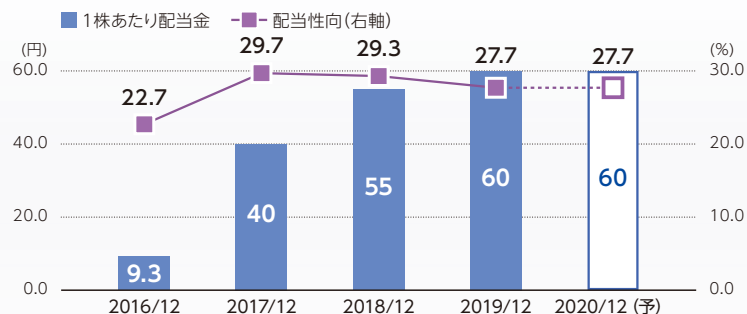


## 株主の皆様への利益還元について

当社は、株主の皆様への利益配分について、研究開発投資、生産体制強化、新事業開拓等の将来の企業成長に必要な内部留保資金を確保しつつ、収益状況に応じて柔軟に行うことを基本方針としております。

当期の期末配当は、前期末配当金の1株当たり55円に対し5円増配の60円となります。



※2017年3月18日付で1:1,000の株式分割、及び同年10月13日付で1:3の株式分割を実施。  
 ※2017/12期以前の1株当たり配当金は上記株式分割を反映し、遡求修正して表記。

## 株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで  
 定時株主総会 3月中  
 株主名簿管理人 日本証券代行株式会社  
 特別口座管理機関 日本証券代行株式会社  
 同事務取扱場所 日本証券代行株式会社 本店  
 公告方法 電子公告により行います。  
 ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
 なお、電子公告は当社ホームページに記載しており、そのアドレスは以下の通りです。  
<http://www.optorun.co.jp/>

## ホームページのご案内



### 株式会社オプトラ

【東京オフィス(本社)】  
 東京都豊島区西池袋1-11-1  
 メトロポリタンプラザビル11階  
 TEL: 03-6635-9487  
 FAX: 03-6635-9497

【川越技術センター】  
 埼玉県川越市竹野10-1  
 TEL: 049-239-3381  
 FAX: 049-239-3394



# 第21期 株主通信

2019年1月1日～2019年12月31日



スマートフォンからIoT・5Gへ

株式会社オプトラ

証券コード：6235

## 社長メッセージ

当期も増益を確保。最新の研究開発成果である、最高度光学薄膜技術を反映した多様な新型装置類の完成により、マーケティングを本格化。スマートフォンからIoT・5Gへの市場拡大に対応。国際政治の緊張、新型ウイルス問題等はあるものの、光学薄膜を超える新技術取り組みにより、新業種分野への装置応用を拡大し、業容拡大を目指します。

当期(2019年12月期)の連結業績は、売上高は428億円(前年同期比4.3%減)、営業利益は108億円(前年同期比1.8%増)、経常利益は110億円(前年同期比0.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は91億円(前年同期比17.5%増)となりました。

当期は米中貿易摩擦の長期化の影響もあり、1年を通じて、厳しいビジネス環境が続きました。スマートフォン市場では筐体への成膜需要やカメラ複眼化に伴う成膜需要が増加しましたが、一方、監視カメラ等のカメラレンズ関連、生体認証や車載カメラ等のIoT関連成膜装置は、中国経済の減速の影響を受け、一時的な受注様子見傾向が強まりました。

このように変化の激しい市場環境の中、お客様の装置の短納期化を求める動きも顕著となり、弊社は開発・生産・マーケティング部門がそれぞれ迅速な対応に努めてまいりました。また、生産コストの削減に取り組み、生産工程の効率化や資材調達コストの低減に努めました。その結果、売上高は計画を下回りましたが、最終利益は目標を上回る成果を上げることができました。

当社を取り巻く事業環境は、米中貿易摩擦問題は一服感があるものの、新型コロナウイルス流行が深刻化し、不透明な状況にあります。弊社は、上海での生産や中国のお客様とのビジネスが事業の重要な基盤であります。今般の事態を注意深く見守りながら、当社事業へ与える影響を最小限とするよう努めてまいります。

受注動向は活発になりつつあります。2019年末から光学薄膜需要の回復傾向が見られ、2020年に入ってもこの傾向がさらに強



代表取締役社長執行役員

林 為平

まっております。

スマートフォン市場は広角、望遠、超広角といった複数の機能を組み合わせたカメラ複眼化による成膜需要は強く、また、AR/VR技術を駆使した高精度な3Dセンシングへの成膜需要も期待されます

さらに、車載関連、生体認証関連、半導体関連、光通信関連のIoT分野は有望です。車載では、インストルメントパネルの速度計器類や空調・音響関連機能等のタッチパネル化、歩行者検知や障害物検知のセンサ機能や自動車の死角をなくすためのカメラ広角化等、成膜需要は拡大するものと思われます。生体認証では、スマートフォンの顔認証や指認証等の機能をはじめ、市街地・空港等での生体認証技術が活用され、今後の需要拡大が見込まれます。半導体では、新たな生産手法として光学半導体融合技術の取入れが進んでいます。光通信では、5G対応に向けた通信機器部品への成膜需要が期待されます。

その他、カメラレンズでは、中国での監視網強化やテロ対策、イベント会場等でのセキュリティ対策向けの監視カメラ需要は拡大しており、LEDにおいても照明器具、センサ光源、ミニLED等の需要が生じており、装置需要は堅調に推移するものと見込まれます。

また、中長期的な事業拡大の一環として、当社は、M&A・出資・提携・買収などについても積極的に検討してまいります。

株主の皆様には、引き続き当社グループにご支援のほどお願い申し上げます。

## 事業戦略

光学薄膜技術の限界に挑戦し、新型装置開発や製造コストの削減により、収益アップに努めます。同時にM&Aや投資により、企業価値向上を目指します。

## 注力する今後の取り組み

## 研究開発連携

本社・上海・台湾の研究開発連携をより一層強化し、基礎開発は本社、応用開発は上海・台湾の機能分化を促進し、市場に先行する開発力を発揮する。

## マーケティング

スマートフォン(カバーガラス、カメラモジュール、3Dセンシング、生体認証等)からIoT・5G・自動車・半導体・光通信等への展開を加速する。

## 収益性の維持・向上

新たな技術を開発し、高付加価値装置の供給により売上の向上を図る一方で、海外拠点における原価削減を徹底していく。

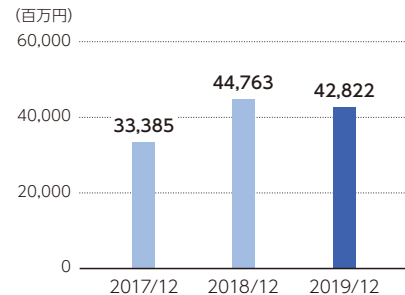


## M&amp;A &amp; 投資

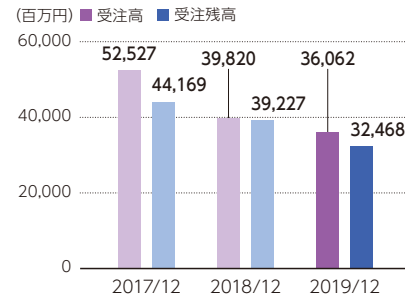
M&A&投資により、グループの企業価値向上を目指すとともに、新技術の取り込みを加速していく。

# 連結財務ハイライト

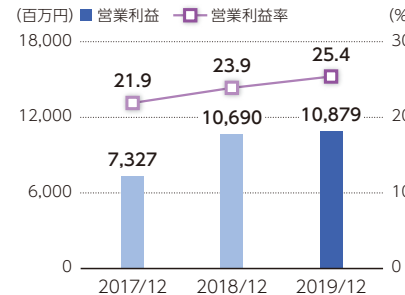
## 売上高



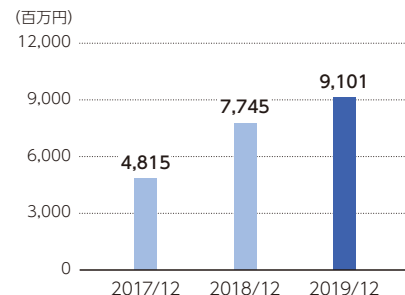
## 受注高／受注残高



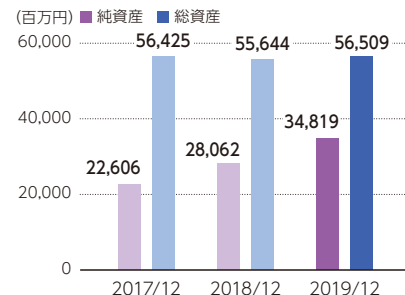
## 営業利益／営業利益率



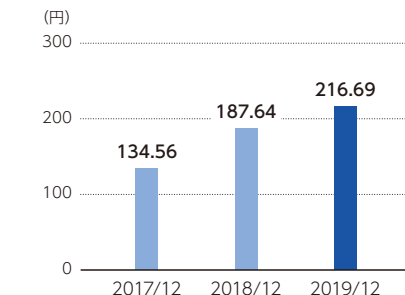
## 親会社株主に帰属する当期純利益



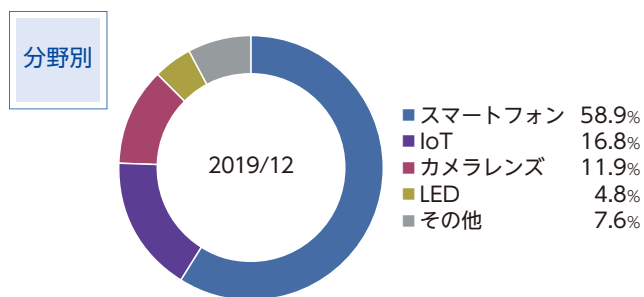
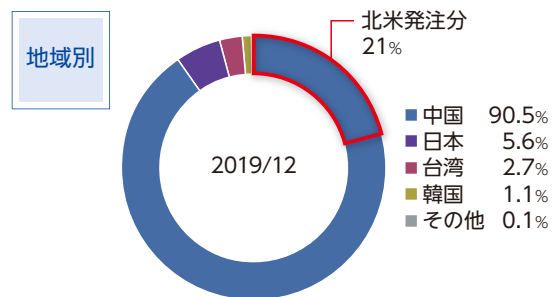
## 純資産／総資産



## 一株当たり当期純利益



## 地域別・分野別の売上構成比



# 要約連結財務諸表

## 貸借対照表

	2018/12	2019/12
<b>資産の部</b>		
流動資産	48,142	47,193
固定資産	7,501	9,315
有形固定資産	2,843	2,763
無形固定資産	65	65
投資その他の資産	4,593	6,486
資産合計	55,644	56,509
<b>負債の部</b>		
流動負債	25,922	19,825
固定負債	1,658	1,864
負債合計	27,581	21,689
<b>純資産の部</b>		
株主資本	28,385	35,586
資本金	400	400
資本剰余金	9,193	9,513
利益剰余金	18,980	25,801
自己株式	△ 188	△ 128
純資産合計	28,062	34,819
負債純資産合計	55,644	56,509

## 損益計算書

	2018/12	2019/12
売上高	44,763	42,822
売上原価	27,326	25,125
売上総利益	17,436	17,696
販売費及び一般管理費	6,745	6,817
営業利益	10,690	10,879
営業外収益	494	299
営業外費用	192	147
経常利益	10,992	11,031
特別利益	10	458
特別損失	255	2
税金等調整前当期純利益	10,748	11,487
法人税、住民税及び事業税	2,901	1,720
法人税等調整額	△ 223	665
親会社株主に帰属する当期純利益	7,745	9,101

## キャッシュ・フロー計算書

	2018/12	2019/12
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,572	16,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,964	△ 2,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,053	△ 2,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 707	△ 213
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 4,153	11,229
現金及び現金同等物の期首残高	19,893	15,740
現金及び現金同等物の期末残高	15,740	26,969

# 株式情報

(2019年12月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数 ..... 177,432,000株  
 発行済株式総数 ..... 44,358,000株  
 株主数 ..... 9,954名

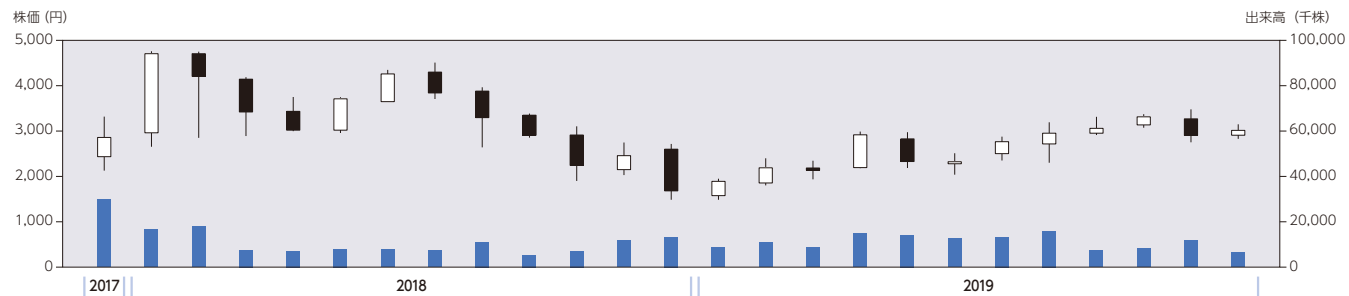
## 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
浙江水晶光电科技股份有限公司	6,507	15.35
株式会社アルバック	3,038	7.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,740	6.46
孫 大雄	2,481	5.85
JSR株式会社	2,310	5.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,808	4.26
理研電線株式会社	1,275	3.01
肖 連豊	978	2.31
林 為平	682	1.61
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505253	653	1.54

(注) 1. 当社は、自己株式を1,950千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株価・出来高の推移(月足)

※2017年12月20日株式上市



# 会社情報

(2019年12月31日現在)

## 会社概要

会社名 株式会社 オプトラン  
 (OPTORUN Co.,Ltd.)  
 住所 【東京オフィス(本社)】  
 東京都豊島区西池袋1-11-1  
 メトロポリタンプラザビル11階  
 【川越技術センター】  
 埼玉県川越市竹野10-1  
 設立 1999年8月25日  
 資本金 400百万円  
 事業内容 光学薄膜装置等の製造販売

## マネジメント体制(2020年3月25日現在)

名誉会長 孫 大雄  
 取締役  
 代表取締役 林 為平  
 取締役 高橋 俊典  
 取締役 範 寶  
 取締役 林 敏※  
 取締役 樋口 武※  
 取締役 山崎 直子※

監査役  
 常勤監査役 小林 信一  
 監査役 清野 英夫※  
 監査役 兪 建初※

執行役員  
 社長執行役員 林 為平  
 専務執行役員 高橋 俊典  
 専務執行役員 範 寶  
 執行役員 奚 建政  
 執行役員 小田木秀幸

※は社外

## 主なグループ会社

